

「チャレンジ応援奨学金」 寸評・抱負

「学生自主防災会」を採用決定した理由

千葉商科大学教育後援会
会長 佐藤春男

「学生自主防災会」は、東北被災地でボランティア活動をしていた学生が、防災のために何かできることはないだろうかという意識に目覚めて結成した団体と聞いています。昨年4月の結成で、地域社会との連携等で課題も残る団体ではありますが、学内ハザードマップの作成、救命講習会や防災講義の開催、学内避難訓練の向上計画と本年度の事業計画もしっかりしていました。

計画した事業を遂行することにより学内外を巻き込み、地域に貢献する防災活動をしてほしいという期待を込め採用決定としました。「学生自主防災会」が今後も積極的かつ継続的に活動し、学内における防災の中心的役割を演じられることを大いに期待し、本奨学金が体制整備に役立つよう使われることを願うものであります。

「教育後援会」第1号の奨学生！ おめでとうございます。

「チャレンジ応援奨学金」受賞の喜び・抱負

学生自主防災会 代表
商経学部 商学科 4年 三木絵里子

このたびの「チャレンジ応援奨学金」には、他団体からも申請があった中で自主防災会を選んでくださったことを光栄に思います。実績も少なく、支援に戸惑うような団体であったかと思えます。しかし、私たち団体の設立趣旨に賛同いただき支援してくださるとのことで、正直少々戸惑ってはいますが、防災を知り学ぶことや地域との交流を重要視してくれたことに喜びを感じています。今後は学内だけではなく学外との繋がりを強くしていくため、他組織と連絡を率先して取り合うようにしていく予定です。防災知識を身につけるには長い時間が必要です。私の代では手探りで活動していくことしかできませんが、本学だけでなく地域の方々の防災知識の向上と交流・連携を図るためのきっかけとなれるよう、努力していきたいと思えます。

支援してくださる方々のご期待に応えられるよう、自主防災会一同、より一層、活動に尽力していきたいと思えます。